

コットン(わた)も育ててみよう

まきどき 関東基準

▶ 4月下旬から6月中旬まで



セット内容



準備



あと便利なもの



Point 小さな苗は病気がかりやすいので、病害虫の心配がない清潔で新しい、専用の土を使いましょう!



植え方



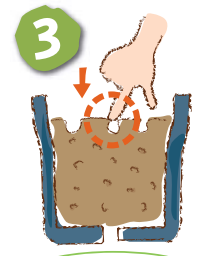
1 花が咲くまで効き目が続きます

マグアンプKを培養土にまき、1ヶ所に固まらないようによく混ぜこみます。



2

手のひらなどで、きれいに土を平らにならしておきます。土の高さは上から3cmぐらい下にします。



4ヶ所穴をあけて、タネを入れます。

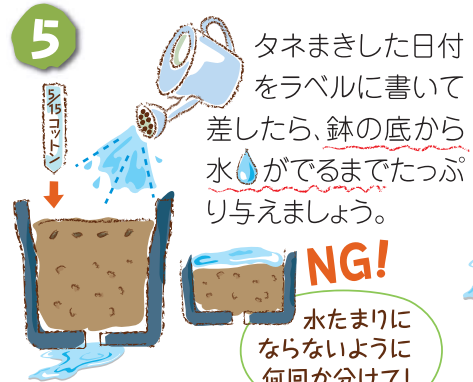
土にひとさし指で穴を4ヶ所あけます。1粒ずつ穴にタネを入れます。穴の深さは約1cm。



上から見た図



4 土をふわっとかけて手のひらで押さえて平らにします。

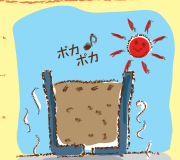


5 タネまきした日付をラベルに書いて差したら、鉢の底から水がでるまでたっぷり与えましょう。

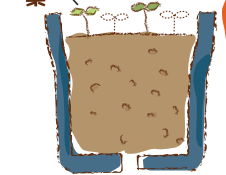
NG!

水たまりにならないように何回か分けて!

Point 発芽温度が25℃前後と高めなので、タネをまき終わったら、よく日の当たるコンクリートの上に置くと、土の温度を上げることができます。



水やりのタイミングは土の表面が白く乾いたら、鉢の下から水が出るくらいたっぷり与えます。



Point 間引く時にとなりの芽を傷めないように、ハサミを使いましょう。

6 太陽にしっかり当てます。ヒョロヒョロなものや小さい芽を間引きして元気な芽を2本残します。

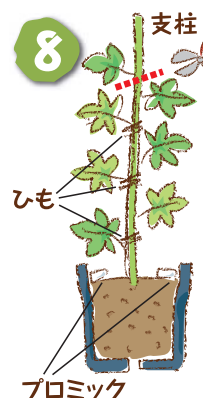
コットンは乾燥を好むので、芽が出たら土がいつもジメジメしていないように注意しましょう!

コットンは移植を嫌います。



7

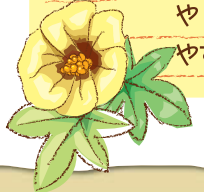
本葉が4枚出たら、一番元気な苗を1本残します。もう1本は隣の苗を傷めないようにハサミで根元から切ります。



8

本葉が5~6枚になったら、摘心すると枝が多くなります。タネをまいて1ヶ月くらいしたら、プロミックを鉢のふちに置きます。

Point 気温が高くなるとともにぐんぐん育って高さ60cm位になります。花が咲いたら、朝のうちに花粉を雌しべの先に受粉してやると実がつきやすくなります!



花がしほんで約1ヶ月ほどで実が割れて白いコットンがはじけます

コットンを収穫したり、枝ごとドライフラワーにしたり、用途いろいろ

Let's try!